

- 者に対し、ターンアラウンド方式による申請を導入（平成21年9月実施）
- 全額及び半額の申請免除に加え、1/4免除及び3/4免除を導入し、負担能力に応じたきめ細やかな免除制度を導入する。（平成18年7月～）
 - 大学等が、学生である被保険者の委託を受けて、学生納付特例に係る申請を代行する仕組みを導入する。（平成20年4月～）
 - 大学生等の最初の申請の際に卒業予定年月日を把握することで当該年月までの間、ターンアラウンド方式による申請を導入する。（平成20年4月～）
 - 雇用保険受給者初回説明会や初回認定日における年金相談窓口の設置を含め、免除制度の周知及び免除申請書等がハローワークで受理できる体制の整備
（平成16年10月～）

国民年金保険料¹⁵の収納対策の概要

(単位:億円)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
保険料を納めやすい環境づくり	6.3	5.0	11.5	8.0
口座振替の利用促進	4.1	3.7	3.7	3.6
クレジットカード等による保険料納付の促進	2.2	1.3	7.8	4.4
行動計画に基づく納付督促の着実な実施	141.9	131.4	106.8	94.0
国民年金推進員による戸別訪問の実施	79.8	72.4	55.1	28.3
催告状の発送	22.0	18.3	6.4	2.7
電話納付督促の実施	13.4	9.4	4.7	1.7
職員による戸別訪問の実施	14.4	9.0	5.7	1.9
国民年金保険料の納付督促業務の委託(市場化テスト)	12.3	22.3	35.0	59.4
所得情報を活用した強制徴収の拡大	2.5	3.7	5.3	5.3
免除等制度の周知等の実施	1.3	4.0	4.9	4.8
合 計	152.0	144.1	128.5	112.1

現年度 納付率	66.3%	63.9%	62.1%	—
最終納付率	(平成16年度分) 68.2%	(平成17年度分) 72.4%	(平成18年度分) 70.8%	(平成19年度分) —

公的年金の受給者を対象とした所得税の年末調整を行うとした場合の課題等について

I. 現 状

社会保険庁（日本年金機構）は所得税法上、公的年金の支払者として源泉徴収義務が課せられており、同庁が支給する国民年金（基礎年金）及び厚生年金について、源泉徴収を実施。

この際、所得税法上の

- ・ 年初までに提出された約 700 万件の扶養親族等申告書に基づく各種控除（配偶者控除、扶養控除等）
- ・ 公的年金等から特別徴収された各種社会保険料（市町村が徴収する介護保険料、国民健康保険料（税）及び長寿医療保険料）分の控除を行っている。

II. 給与所得者に関する年末調整

給与所得者に関しては、給与の支払者（＝会社）が、給与の支払の都度、扶養控除等申告書に基づく各種控除や、給与から控除される社会保険料に係る控除を適用した上で、源泉所得税を控除している（公的年金についての取扱いと同様）。

所得税法第 190 条の規定により「給与所得者の扶養控除等申告書を提出した居住者（確定した給与等の金額が二千万円以下）」については、給与等支払者（＝会社）が、その年最後に給与の支払いをする際に、給与所得者の各人ごとに、給与を支払う都度源泉徴収をした所得税の合計額（※）と、その年中の給与の支給総額について納付すべき税額とを比較して過不足額の精算を行うこととされている。

(※) 税額の計算にあたっては、源泉徴収税額の計算上は反映していなかった以下の事情も考慮。

- その年中の扶養親族や控除対象配偶者の異動
- 給与から控除されていない社会保険料（国民年金保険料等）や生命保険料等
- 配偶者特別控除の対象となる者の年間給与額

このように、所得税法上、年末調整の対象者は、給与所得者である必要がある。

⇒ 公的年金は所得税法上、雑所得であり、現行の所得税法上では、社会保険庁（日本年金機構）が年末調整を行うことができる仕組みにはなっていない。

Ⅲ. 実施する場合の課題

- 社会保険庁（日本年金機構）が年末調整を実施することとした場合、現在の扶養親族等申告書に基づく各種控除と社会保険料控除に加え、生命保険料など保険料控除申告書や控除証明書の提出をいただく必要があるが、これには、会社と異なり、日本全国に居住する最大約3,000万人の年金受給者を対象とする必要があることから、相当の人員体制やシステムの構築が必要と見込まれる。
- サラリーマンでも、雑所得がある者の場合は、確定申告する必要があるように、仮に、社会保険庁（日本年金機構）で把握している限りの範囲で年末調整をしたとしても、年金受給者に国民年金や厚生年金以外の共済年金や企業年金（厚生年金基金の受給者数：約260万人）がある場合には、確定申告を行う必要がでてくる。これを確定申告しなくてもよいようにするためには、社会保険庁（日本年金機構）が公的年金受給者のあらゆる所得を把握しておく必要があるが、これが可能だとしても、相当の準備期間を必要とする。

厚生年金保険の適用事業所数、未適用事業所数及び保険料収納率

	20年度末					19年度末					18年度末				
	適用すべき事業所の計 ③(①+②)	適用事業所数 ①	未適用事業所数 ②	適用率 ①÷③	収納率	適用すべき事業所の計 ③(①+②)	適用事業所数 ①	未適用事業所数 ②	適用率 ①÷③	収納率	適用すべき事業所の計 ③(①+②)	適用事業所数 ①	未適用事業所数 ②	適用率 ①÷③	収納率
1 北海道	86,521	77,337	9,184	89.4%	97.7%	86,657	77,061	9,596	88.9%	98.0%	87,664	76,109	11,555	86.8%	98.1%
2 青森	17,270	14,781	2,489	85.6%	96.6%	17,374	14,727	2,647	84.8%	96.3%	17,822	14,734	3,088	82.7%	96.3%
3 岩手	17,766	16,359	1,407	92.1%	98.2%	17,640	16,302	1,338	92.4%	98.7%	17,539	16,208	1,331	92.4%	98.8%
4 宮城	33,505	28,686	4,819	85.6%	97.8%	32,930	28,264	4,666	85.8%	98.5%	33,439	27,852	5,587	83.3%	98.8%
5 秋田	15,837	14,252	1,585	90.0%	99.3%	15,701	14,227	1,474	90.6%	99.4%	15,659	14,147	1,512	90.3%	99.5%
6 山形	17,711	16,452	1,259	92.9%	98.6%	17,479	16,429	1,050	94.0%	98.7%	17,256	16,232	1,024	94.1%	98.7%
7 福島	32,037	28,464	3,573	88.8%	97.6%	31,810	28,401	3,409	89.3%	98.0%	31,627	28,182	3,445	89.1%	98.0%
8 茨城	26,298	24,540	1,758	93.3%	98.1%	25,431	24,040	1,391	94.5%	98.3%	24,438	23,415	1,023	95.8%	98.4%
9 栃木	23,844	21,828	2,016	91.5%	97.7%	24,709	21,547	3,162	87.2%	98.1%	23,957	21,069	2,888	87.9%	98.2%
10 群馬	29,334	25,441	3,893	86.7%	99.1%	29,810	25,185	4,625	84.5%	99.3%	31,038	24,913	6,125	80.3%	99.2%
11 埼玉	58,384	55,568	2,816	95.2%	97.3%	57,116	54,032	3,084	94.6%	97.8%	56,053	52,278	3,775	93.3%	97.8%
12 千葉	49,868	42,982	6,886	86.2%	98.0%	49,686	41,575	8,111	83.7%	98.3%	41,533	39,962	1,571	96.2%	98.3%
13 東京	287,870	281,424	6,446	97.8%	99.0%	276,012	274,002	2,010	99.3%	99.3%	269,168	264,678	4,490	98.3%	99.4%
14 神奈川	76,677	74,958	1,719	97.8%	98.6%	74,296	72,719	1,577	97.9%	99.0%	71,627	69,951	1,676	97.7%	99.1%
15 新潟	37,959	36,026	1,933	94.9%	99.0%	37,686	36,195	1,491	96.0%	99.1%	37,689	36,206	1,483	96.1%	99.2%
16 富山	18,671	17,260	1,411	92.4%	98.6%	18,579	17,302	1,277	93.1%	98.7%	18,178	17,256	922	94.9%	98.5%
17 石川	20,798	18,787	2,011	90.3%	98.4%	20,948	18,989	1,959	90.6%	98.6%	19,921	18,792	1,129	94.3%	98.4%
18 福井	15,404	14,939	465	97.0%	99.0%	15,421	14,925	496	96.8%	99.4%	15,554	14,930	624	96.0%	99.5%
19 山梨	13,668	12,569	1,099	92.0%	98.1%	13,871	12,471	1,400	89.9%	98.6%	13,508	12,337	1,171	91.3%	98.8%
20 長野	35,258	32,726	2,532	92.8%	99.1%	35,159	32,696	2,463	93.0%	99.3%	35,139	32,393	2,746	92.2%	99.4%
21 岐阜	30,537	26,858	3,679	88.0%	98.0%	29,684	26,763	2,921	90.2%	98.4%	28,122	26,526	1,596	94.3%	98.6%
22 静岡	56,869	52,492	4,377	92.3%	98.4%	57,208	52,277	4,931	91.4%	98.7%	56,016	51,877	4,139	92.6%	98.8%
23 愛知	103,132	99,984	3,148	96.9%	98.8%	102,054	98,448	3,606	96.5%	99.0%	100,487	96,431	4,056	96.0%	99.0%
24 三重	24,388	23,316	1,072	95.6%	97.6%	23,713	22,814	899	96.2%	98.0%	23,097	22,255	842	96.4%	98.1%
25 滋賀	17,117	15,797	1,320	92.3%	98.9%	16,759	15,458	1,301	92.2%	99.3%	16,114	15,068	1,046	93.5%	99.4%
26 京都	40,818	40,122	696	98.3%	98.4%	40,222	39,523	699	98.3%	98.7%	39,408	38,587	821	97.9%	98.6%
27 大阪	152,734	148,642	4,092	97.3%	97.8%	149,919	146,145	3,774	97.5%	97.9%	146,991	142,383	4,608	96.9%	97.9%
28 兵庫	68,591	65,772	2,819	95.9%	98.1%	67,377	64,718	2,659	96.1%	98.3%	66,195	63,297	2,898	95.6%	98.2%
29 奈良	14,664	13,993	671	95.4%	97.9%	14,671	14,004	667	95.5%	98.3%	14,185	13,673	512	96.4%	98.2%
30 和歌山	13,886	13,527	359	97.4%	97.9%	14,357	13,472	885	93.8%	98.0%	13,641	13,402	239	98.2%	98.0%
31 鳥取	9,498	8,882	616	93.5%	97.6%	9,477	8,917	560	94.1%	97.6%	9,212	8,961	251	97.3%	97.5%
32 島根	12,716	12,485	231	98.2%	97.4%	12,623	12,458	165	98.7%	97.2%	12,700	12,486	214	98.3%	96.9%
33 岡山	33,522	31,836	1,686	95.0%	97.6%	33,608	31,696	1,912	94.3%	98.0%	32,575	31,288	1,287	96.0%	97.9%
34 広島	47,043	45,020	2,023	95.7%	96.9%	46,635	44,713	1,922	95.9%	97.2%	45,735	44,169	1,566	96.6%	96.8%
35 山口	21,301	19,821	1,480	93.1%	98.1%	21,360	19,802	1,558	92.7%	98.2%	21,423	19,727	1,696	92.1%	98.3%
36 徳島	14,618	14,171	447	96.9%	97.1%	14,560	14,201	359	97.5%	97.4%	14,429	14,123	306	97.9%	97.4%
37 香川	16,916	16,356	560	96.7%	98.5%	16,546	16,150	396	97.6%	98.8%	16,378	15,982	396	97.6%	98.9%
38 愛媛	23,783	22,103	1,680	92.9%	98.1%	23,954	22,029	1,925	92.0%	98.2%	23,264	21,759	1,505	93.5%	98.2%
39 高知	12,122	11,752	370	96.9%	97.1%	12,014	11,678	336	97.2%	97.4%	12,090	11,776	314	97.4%	97.2%
40 福岡	76,653	73,956	2,697	96.5%	97.9%	74,030	72,500	1,530	97.9%	98.2%	73,607	70,824	2,783	96.2%	98.1%
41 佐賀	11,748	11,257	491	95.8%	98.8%	11,577	11,157	420	96.4%	97.4%	11,549	11,201	348	97.0%	97.4%
42 長崎	22,009	19,940	2,069	90.6%	96.7%	21,771	19,947	1,824	91.6%	97.4%	21,997	19,837	2,160	90.2%	97.8%
43 熊本	26,216	23,169	3,047	88.4%	97.7%	26,780	23,100	3,680	86.3%	98.1%	25,009	22,788	2,221	91.1%	98.1%
44 大分	19,337	17,910	1,427	92.6%	96.7%	18,916	17,797	1,119	94.1%	97.3%	18,497	17,497	1,000	94.6%	97.5%
45 宮崎	16,586	15,529	1,057	93.6%	97.9%	16,510	15,490	1,020	93.8%	98.1%	16,322	15,271	1,051	93.6%	98.1%
46 鹿児島	25,220	24,006	1,214	95.2%	97.6%	25,360	23,900	1,460	94.2%	97.8%	25,478	23,692	1,786	93.0%	97.9%
47 沖縄	16,109	15,491	618	96.2%	99.0%	16,060	15,344	716	95.5%	99.1%	15,452	14,831	621	96.0%	99.2%
合計	1,842,813	1,739,566	103,247	94.4%	98.4%	1,816,060	1,715,590	100,470	94.5%	98.7%	1,778,782	1,681,355	97,427	94.5%	98.7%

未適用事業所数について

(社会保険庁が把握している未適用事業所数)

○ 雇用保険の適用事業所データ、新設法人データ、国土交通省の情報提供等を用いて、加入勧奨及び加入指導を行う等により、個別具体的に確認・把握している実数値

(未適用事業所数)

- ・平成20年度 103,247事業所
- ・平成19年度 100,470事業所
- ・平成18年度 97,427事業所

(総務省が推計する未適用事業所数)

○ 適用漏れのおそれのある事業所数として、一定の推計方法に基づき算出した数値
(平成18年9月15日総務省勧告)

(推計の方法)

- ① 労災保険、雇用保険の未適用事業所数の推計値(50~60万)の6割を未適用と推計
<約30.7~36.8万事業所>
 - ② 雇用保険に加入しながら厚生年金に加入していないと疑われる事業所数
<約32.7万事業所>
※ 社会保険庁における14、16、17年の雇用保険の突合リストから未適用事業所数を推計
- ①と②合算した推計値
<約63万~約70万事業所>

事業所規模別滞納事業所数の推移(18年度末～20年度末)

	18年度末(平成19年5月31日時点)						19年度末(平成20年5月31日時点)						20年度末(平成21年5月31日時点)					
	全喪	5人未満	5～19人	20～49人	50人以上	計	全喪	5人未満	5～19人	20～49人	50人以上	計	全喪	5人未満	5～19人	20～49人	50人以上	計
滞納事業所数	23,475	55,792	23,603	3,856	1,344	108,070	23,993	68,211	25,504	4,340	1,607	123,655	26,136	85,597	28,451	4,994	1,993	147,171
割合	21.7%	51.6%	21.8%	3.6%	1.2%	100.0%	19.4%	55.2%	20.6%	3.5%	1.3%	100.0%	17.8%	58.2%	19.3%	3.4%	1.4%	100.0%